

# 小学校 第1学年 道徳科 学習指導案

神奈川県横浜市立上瀬谷小学校  
主幹教諭 片山 圭祐

主題名 ともだちの ために

教材名 「二つの ことり」(1時間)

内容項目 B 友情、信頼

本時の  
ねらい 友達について考えることをとおして、友達を思うことの大切さに気づき、友達を大切にしていこうとする心情を育てる。

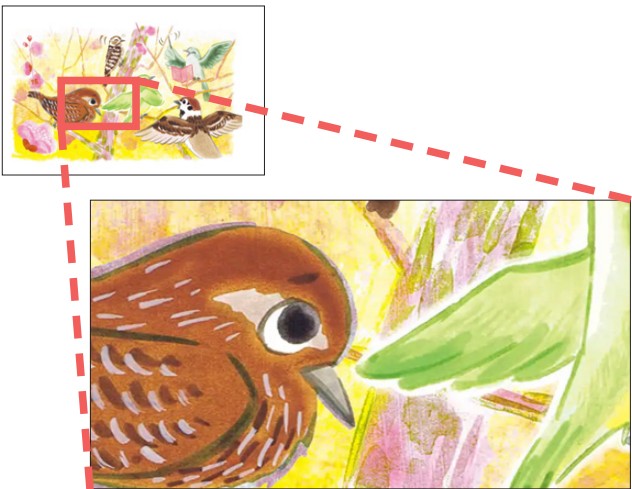
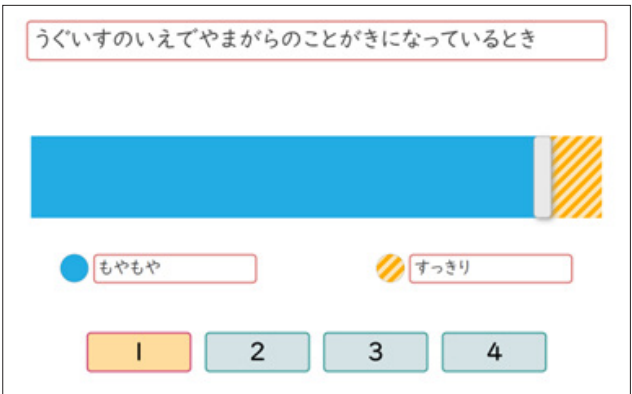
指導時期 10月ごろ


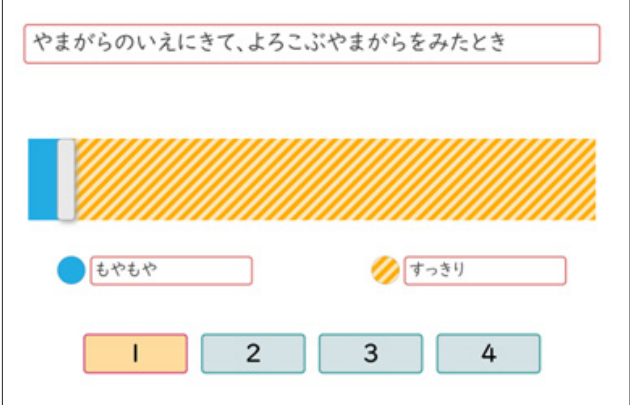
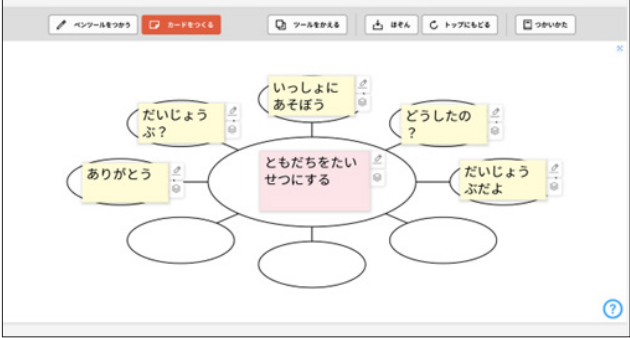
## 指導者用デジタル教材活用の意図・目的

教材の視聴場面で「指導者用デジタル教材」の動画を使用することで、「さし絵と文」という情報が画面上で「さし絵」だけとなり、情報が整理され見やすくなると考えられる。黒板にさし絵を貼り学習の流れが分かるよう整理していきながらも、「指導者用デジタル教材」のさし絵を拡大することで、紙だけでは注目させづらい「みそさざい」や「やまがら」の表情に児童が注目しやすくなることが考えられる。

## 本時の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> </ul> <p>1. 友達について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教材」を活用した教材提示後に、次の発問をする。</li> </ul> <p><b>T</b>：友達といて楽しかったのは、どんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎：一緒に遊んだこと。</li> <li>◎：給食を一緒に食べたこと。</li> <li>◎：おもしろい話をしたこと。</li> </ul>	<p>デジタル教科書・教材の活用</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教材」の二次元コードから「きょうごいのかいせつ」を開き、教材の概要(あらすじ、登場人物紹介)を確認する。</li> </ul> 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<p><b>T</b>：「みそさざい」は、「うぐいす」のうちから抜け出して「やまがら」のうちに向かいます。それはどうしてなのか、考えながら読みましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「動画」 ボタンをクリックし、教材を動画で提示する。</li> </ul> 
展開	<p>2. 「二わの ことり」を読んで、友達の大切さについて考える。 [かんがえよう]</p> <p><b>T</b>：「みそさざい」は、どうして「うぐいす」のうちから抜け出して、「やまがら」のうちへ向かったのでしょうか。</p> <p>◎：「やまがら」が一人で寂しいだろうなと思ったから。</p> <p>◎：誕生日なのにだれも来てくれないなんて寂しいから、自分だけでも行こうと思ったから。</p> <p>◎：「うぐいす」も大切な友達だけど、「やまがら」も大切な友達だから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「指導者用デジタル教材」のさし絵を映し、一人浮かぬ顔をしている「みそさざい」の表情を拡大して、「やまがら」を思う気持ちを考えられるようにする。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●「指導者用デジタル教材」のツールバーから「心情メーター」を立ち上げ、「みそさざい」の気持ちを視覚的に表現し、それをもとに理由を話す工夫も考えられる。</li> </ul> 

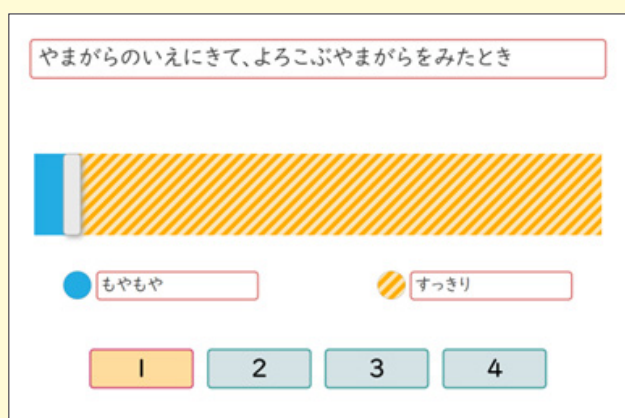
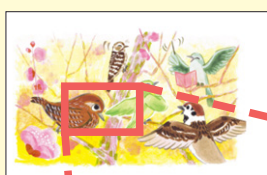
	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
	<p><b>T</b>： 喜ぶ「やまがら」を見て、「みそさざい」はどのような気持ちになったのでしょうか。</p> <p><b>C</b>： 寂しい気持ちにさせてごめんね。いっしょに誕生日会をしよう。</p> <p><b>C</b>： 「やまがら」が喜んでくれてうれしい。</p>	<p>● 「指導者用デジタル教材」のさし絵を映し、目に涙を浮かべる「やまがら」の表情を拡大して、その表情から「みそさざい」の「やまがら」を思う気持ちを考えられるようにする。</p>   <p>● 「指導者用デジタル教材」のツールバーから「心情メーター」を立ち上げ、「みそさざい」の気持ちを視覚的に表現し、それをもとに理由を話す工夫も考えられる。</p> 
	<p><b>3. 友達を大切にすることについて、自分のこととして考える。</b> 〔ふかめよう〕</p> <p><b>T</b>： 友達がいてよかったなと思ったり、うれしななと思ったりしたことはありますか。（また、どんな気持ちで友達に声をかけたのですか。）</p> <p><b>C</b>： 休み時間に外で遊んでいたときに転んで泣いていたら友達が「だいじょうぶ」って言ってくれてうれしかった。</p> <p><b>C</b>： 泣いていて、痛そうだったから助けたいと思った。）</p> <p><b>C</b>： 一人でいたら、友達が「いっしょに遊ぼう」って言ってくれてうれしかった。</p> <p><b>C</b>： いっしょに遊んで仲よくなりたいと思った。）</p>	<p>「指導者用デジタル教材」のツールバーから「思考ツール」を立ち上げ、「ウェビング」を選択し、友達を大切にすることや考えをまとめていく。</p> 
<p>まとめ</p>	<p><b>4. 本時の学習を振り返る</b></p> <p><b>T</b>： 今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</p>	<p>● ふだん使用している学習支援ソフトウェアで振り返りを記入させてもよい。表情の異なる顔の記号から、本時の学習でどんな気持ちや考えがもてたかを選択できるようにするなど、記入しやすいものにすることも考えられる。</p>

## 指導者用デジタル教材を活用したことで得られた効果

導入の場面で、本時は友達とのことについて考えることを確認する。「指導者用デジタル教材」の二次元コードから「きょうざいのかいせつ」を開き、教材の概要（あらすじ、登場人物紹介）を確認することで、友達とのことを考えるための教材視聴であること、「みそさざい」や「やまがら」といったふだん聞きなれない名前の登場人物について確認することができる。



展開の場面では、「指導者用デジタル教材」のさし絵を拡大し、「みそさざい」や「やまがら」の表情に着目することでそのときの気持ちや考えが想像しやすくなる効果が考えられる。また、「心情メーター」は、みんなでその時の心情を考えたり、児童一人を指名して操作させたりする工夫が考えられる。どうしてそのように表したのかを児童に問うことで、友達である「やまがら」のことが気になって楽しめない「みそさざい」の気持ちや、「やまがら」のところに来てよかったと思えた「みそさざい」の気持ちなどが、話しやすくなる効果が考えられる。



〔ふかめよう〕の場面での「思考ツール」は、友達を大切にするための言葉や気持ちをウェビングなどでまとめ、保存・印刷して教室の掲示に活用することが考えられる。「思考ツール」の活用を積み重ねていくことで、他教科においても児童が「思考ツール」を活用できるようになっていくことも考えられる。

